KAINOS
KAINOS LABORATORIES,INC.

# 決算報告会

2022年10月31日

株式会社カイノス
代表取締役社長
長津　行宏

KAINOS
KAINOS LABORATORIES,INC.

# 2022年度 情報開示

| | |
|---|---|
| 1. 2023年３月期 決算短信（非連結） | （2022年　5月　9日） |
| 2. 役員の異動に関するお知らせ | （2022年　5月25日） |
| 3. コーポレート・ガバナンスに関する報告書 | （2022年　6月17日） |
| 4. 有価証券報告書/内部統制報告書/臨時報告書 | （2022年　6月17日） |
| 5. 支配株主等に関する事項について | （2022年　6月17日） |
| 6. 2023年３月期 第１四半期決算短信 | （2022年　7月25日） |
| 7. 四半期報告書（第47期第1四半期） | （2022年　8月　3日） |
| 8. コーポレート・ガバナンスに関する報告書 | （2022年　9月21日） |
| 9. 業績予想の修正に関するお知らせ | （2022年 10月13日） |
| 10. 2023年３月期 第２四半期決算短信 | （2022年10月25日） |

KAINOS
KAINOS LABORATORIES,INC.

# 2022年度 情報開示

## 業績予想の修正に関するお知らせ (1)

（情報開示：2022年 10月13日）

最近の業績動向を踏まえ、2022年５月９日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

修正の理由

当期第２四半期累計期間の業績予想は、生化学検査用試薬の販売が好調であり、売上高は期首予想を上回る見込みです。 売上高における品目構成と合わせ、販売管理費が予算を下回る見込から、営業利益、経常利益、当期純利益のいずれも当初の業績予想を上回る見通しとなりました。

通期業績予想については、上期同様各種検査試薬の売上は堅調に続くと予想しておりますが、輸入原材料コストの増加等を加味し、第２四半期累計期間の業績予想の修正と合わせた見込に修正しております。

KAINOS
KAINOS LABORATORIES,INC.

# 2022年度 情報開示

## 業績予想の修正に関するお知らせ (2)

（情報開示：2022年 10月13日）

1．2023年３月期第２四半期（累計）個別業績予想数値の修正
（2022年４月１日～2022年９月30日）

（単位：百万円、％）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1株当たり当期純利益（円 銭） |
|---|---|---|---|---|---|
| 前回発表予想 （A） | 2,500 | 400 | 400 | 260 | 64.14 |
| 今回修正予想 （B） | 2,600 | 500 | 500 | 350 | 83.86 |
| 増減額 （B）-（A） | 100 | 100 | 100 | 90 | － |
| 増減率 （％） | 4.0 | 25.0 | 25.0 | 34.6 | － |
| （ご参考）前期第２四半期実績（2022年度３月期第２四半期） | 2,330 | 442 | 444 | 301 | 73.58 |

2．2023年３月期通期個別業績予想数値の修正
（2022年４月１日～2023年３月31日）

（単位：百万円、％）

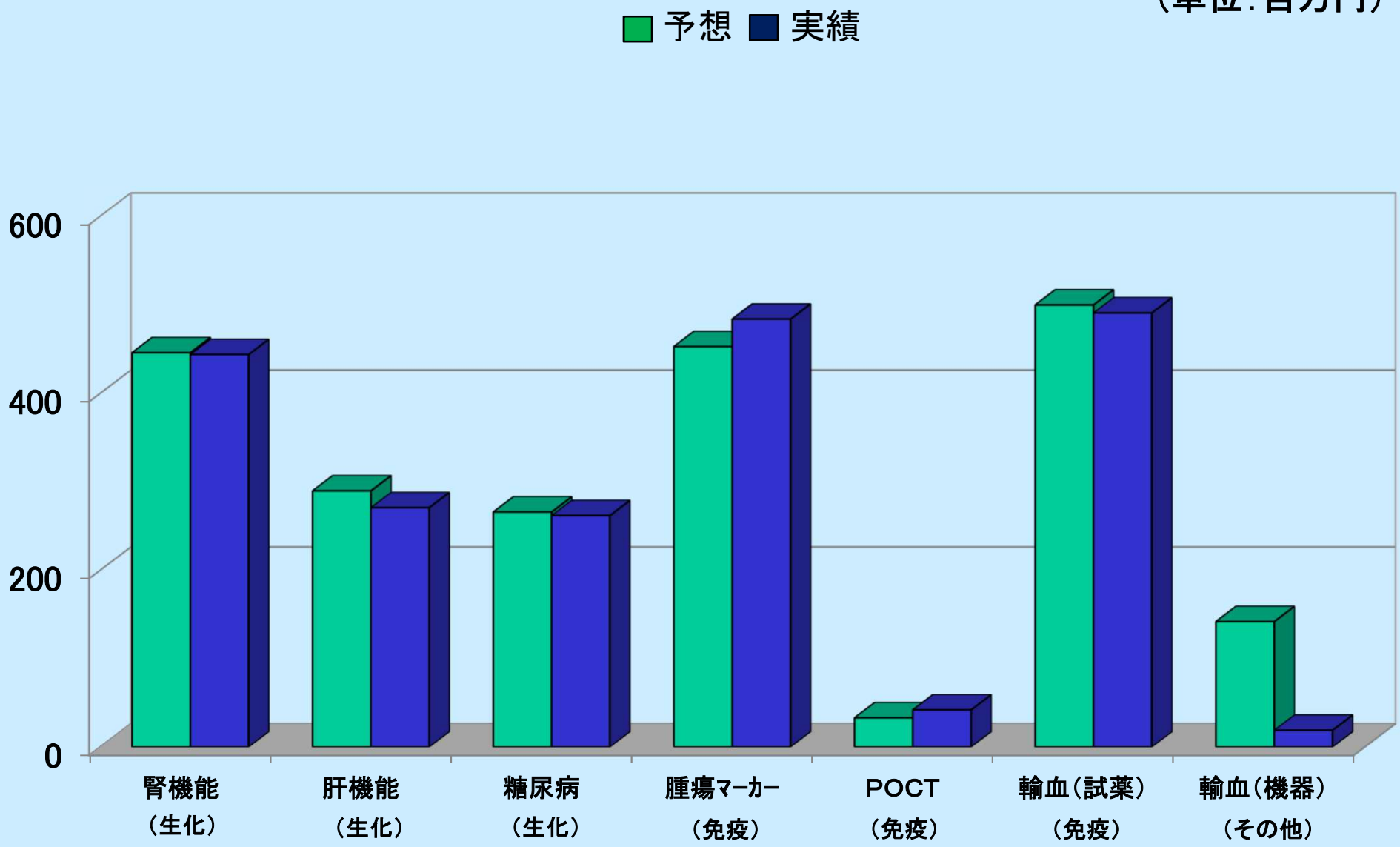
| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益（円 銭） |
|---|---|---|---|---|---|
| 前回発表予想 （A） | 5,000 | 800 | 800 | 520 | 128.28 |
| 今回修正予想 （B） | 5,100 | 900 | 900 | 600 | 143.75 |
| 増減額 （B）-（A） | 100 | 100 | 100 | 80 | － |
| 増減率 （％） | 2.0 | 12.5 | 12.5 | 15.4 | － |
| （ご参考）前期業績（2022年度３月期） | 4,614 | 747 | 777 | 512 | 126.39 |

# 2022年度上期決算

# 2022年度上期決算

## 売上高（主要検査分野別）

（単位：百万円）

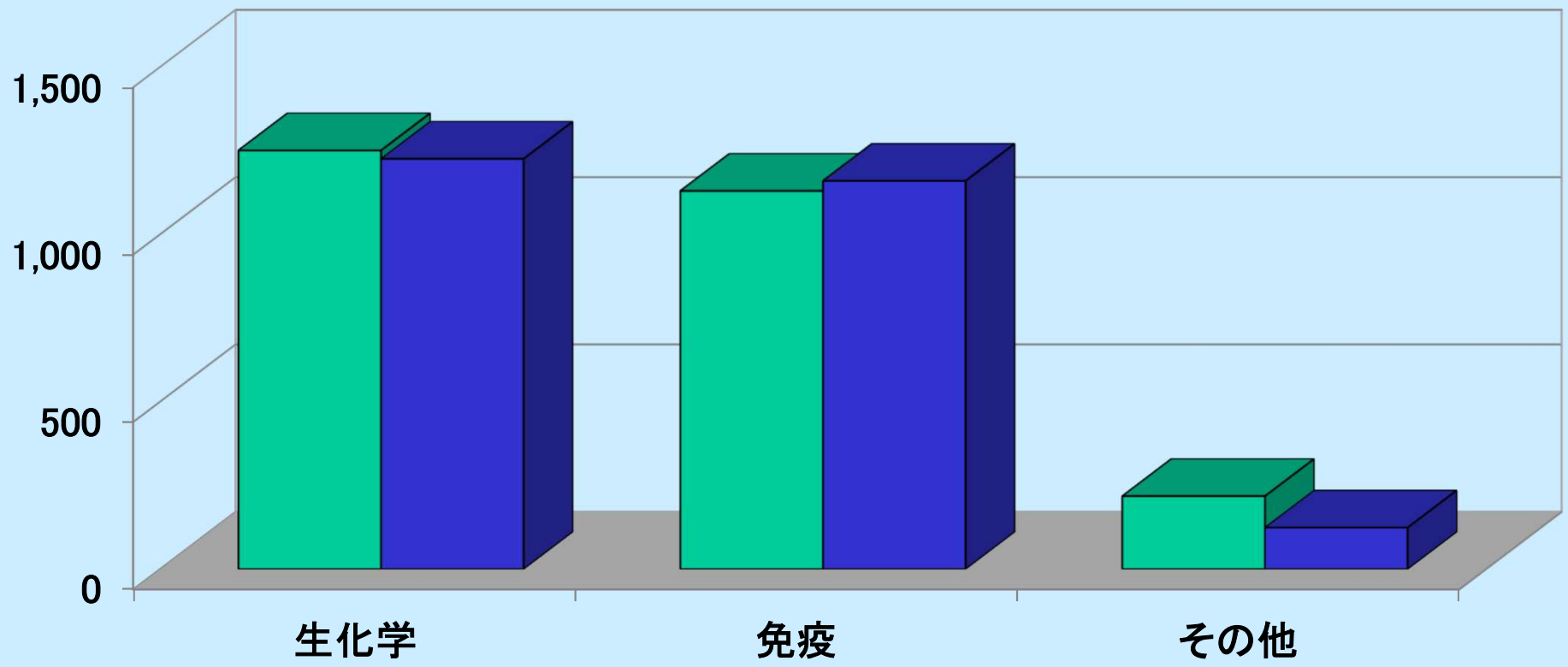


# 2022年度上期決算

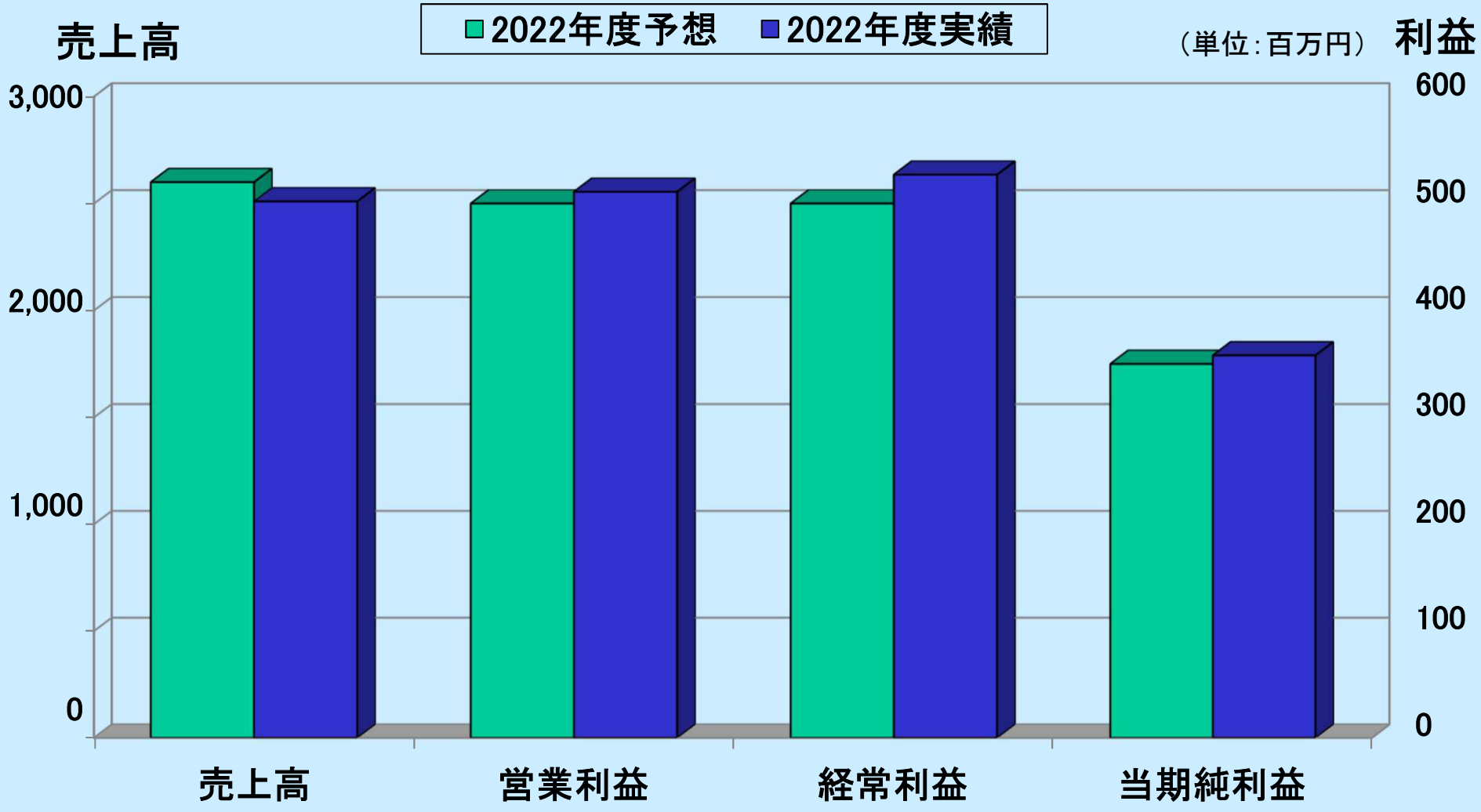
## 売上高（検査分野別）

（単位：百万円）

| | |
|---|---|
| 予　　想 | ：2，600 |
| 実　　績 | ：2，512 |



# 2022年度 上期決算


2022年度予想
2022年度実績
（単位：百万円）
売上高
利益
3,000
2,000
1,000
0
600
500
400
300
200
100
0
売上高
営業利益
経常利益
当期純利益

KAINOS
KAINOS LABORATORIES,INC.

# 2022年度 上期決算

（単位：百万円）

| | | 2022年度 上期 予想 | 2022年度 上期 実績 | 増減額 | 増減率（%） |
|---|---|---|---|---|---|
| 売上高 | 製品 | 2,269（87.3%） | 2,135（85.0 %） | ▲134 | ▲5.9 |
| | 商品 | 331（12.7%） | 377（15.0 %） | 46 | 13.9 |
| | 計 | 2,600（100.0%） | 2,512（100.0 %） | ▲88 | ▲3.4 |
| 営業利益 | | 500 | 511 | 11 | 2.2 |
| 経常利益 | | 500 | 527 | 27 | 5.4 |
| 当期純利益 | | 350 | 358 | 8 | 2.3 |

KAINOS
KAINOS LABORATORIES,INC.

# 2022年度 上期決算

（単位：百万円）

| | | 2021年度 上期 実績 | 2022年度 上期 実績 | 増減額 | 増減率（%） |
|---|---|---|---|---|---|
| 売上高 | （製品） | 2,027（ 87.0 %） | 2,135（ 85.0 %） | 108 | 5.3 |
| | （商品） | 302（ 13.0 %） | 377（ 15.0 %） | 75 | 24.8 |
| | （計） | 2,330（100.0 %） | 2,512（100.0 %） | 182 | 7.8 |
| 営業利益 | | 442 | 511 | 69 | 15.6 |
| 経常利益 | | 444 | 527 | 83 | 18.7 |
| 当期純利益 | | 301 | 358 | 57 | 18.9 |
| 当期純利益率 | | 12.9 % | 14.3 % | ― | ― |

KAINOS
KAINOS LABORATORIES,INC.

# 2022年度の課題と対策

1. 市場変化に順応した新営業スタイルの確立
2. 生化学試薬の拡販
3. 輸血項目の拡大
4. 新規商品の上市
5. 原価・経費低減の取り組み

KAINOS
KAINOS LABORATORIES,INC.

# 2022年度の課題と対策（上期結果）

1．市場変化に順応した新営業スタイルの確立

課題）

1）病院訪問規制の継続

2）市場ニーズの変化

対策）

1） 訪問面談とWeb面談を融合した効率的情報提供

2） 顧客の問題解決を目的としたソリューション営業

3） 人間ドック、健診施設の開拓

⇒顧客へのコール回数コロナ前までの約9割確保

健診施設、病院健診部へH.ピロリ抗体試薬の提案

KAINOS
KAINOS LABORATORIES,INC.

# 2022年度の課題と対策（上期結果）

## ２．生化学試薬の拡販

１）重点項目シェアUP（CRE、UN、UA、IP、Ca、Mg、GL、TP、ALB）

・大学病院等基幹施設を中心に重点拡販

目標：100施設、300項目

⇒新規70施設、208項目採用

・機器メーカーと協業した提案活動

・CRE：トップシェアの奪取

目標：1,000施設 （現在 783施設）

⇒2022年9月末時点：812施設

KAINOS
KAINOS LABORATORIES,INC.

# 2022年度の課題と対策（上期結果）

## ２．生化学試薬の拡販

１）重点項目シェアUP（CRE、UN、UA、IP、Ca、Mg、GL、TP、ALB）

目標：2,000施設 （現在 1,949施設）

年間売上：1,200M￥ （2021年度 1,125M￥）

⇒2022年9月末時点：1,968施設

上期売上結果：620M￥

KAINOS
KAINOS LABORATORIES,INC.

# 2022年度の課題と対策（上期結果）

## ３．輸血項目の拡大

1）機器拡販

・機器使用施設：500施設へ設置

⇒既存378施設+新規14施設設置（合計392施設）

・基幹施設中心に新規設置及び既存施設の確実な更新

全自動機目標：新規15施設、更新対象10施設

⇒施設状況別に運用提案実施

提案数：58施設

採用数：14施設

継続数：44施設

設置5年経過施設（36施設）向けに

リモート機器見学の推進

# 2022年度の課題と対策（上期結果）

## ３．輸血項目の拡大

2) 顧客満足度の向上

・Webセミナーの継続配信（1回/月）

⇒Webセミナー：６回実施

（登録者数2,217名、平均240名以上）

リモート機器見学：５施設実施

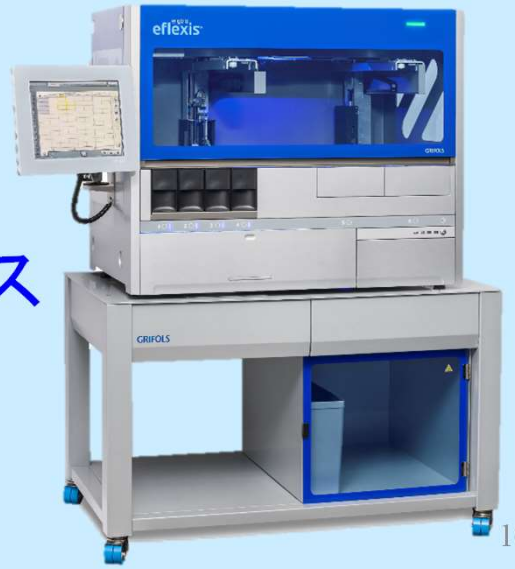
・アフターフォロー体制の強化

⇒１１月サーベイ実施予定、

３１６施設申し込み

⇒新規機器設置施設への日常メンテナンス

研修強化



# 輸血事業の推移

# ① 輸血検査機器

2011年10月　　輸血事業開始

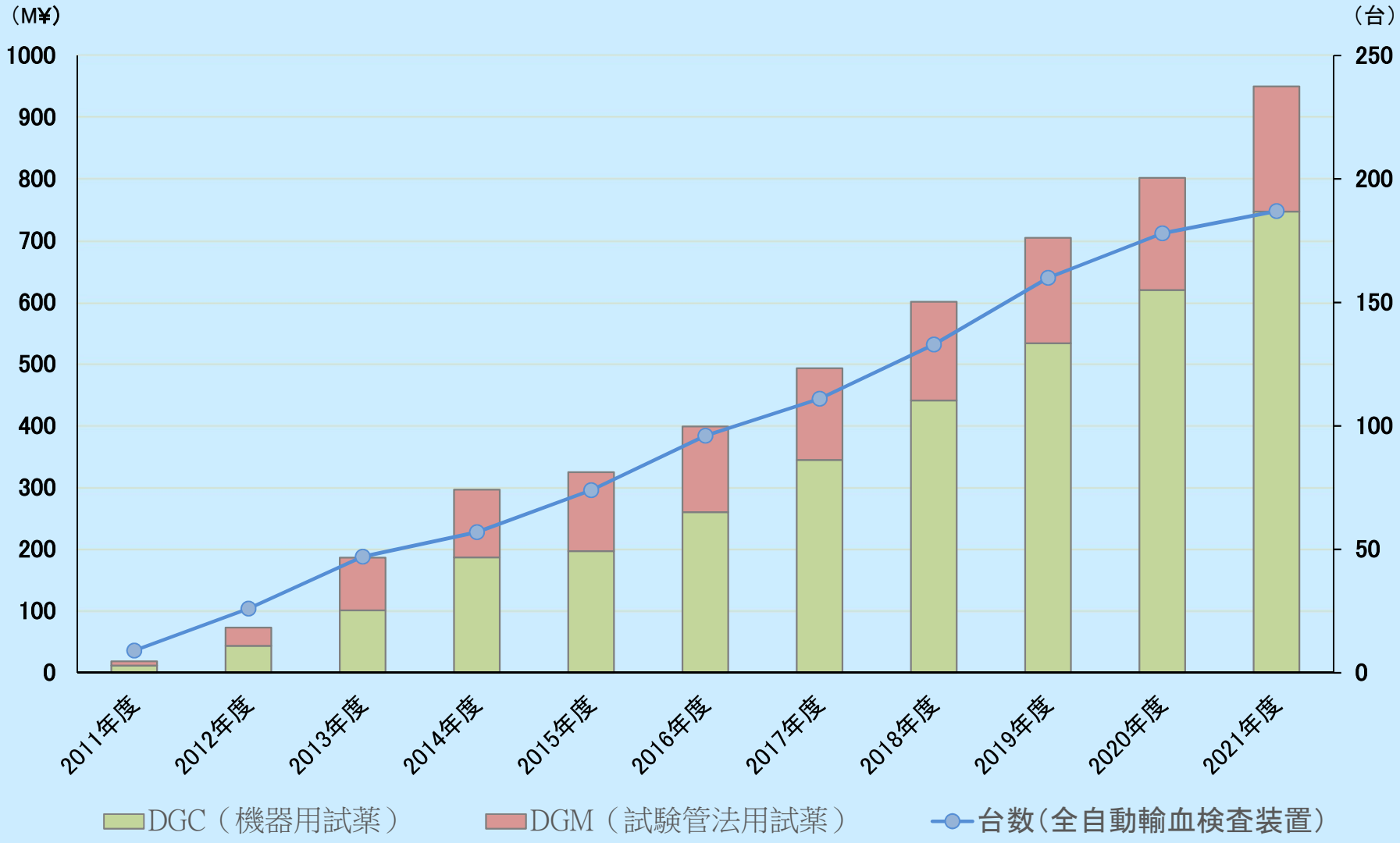
- 全自動輸血検査装置 Erytra（大型機）
- 全自動輸血検査装置 WADiana Compact（小型機）
- カード用インキュベータ DG Therm
- カード用遠心機 DG Spin
- カード用リーダー DG Reader

（半自動機）

2018年 9月　　・全自動輸血検査装置 Erytra Eflexis（中型機）

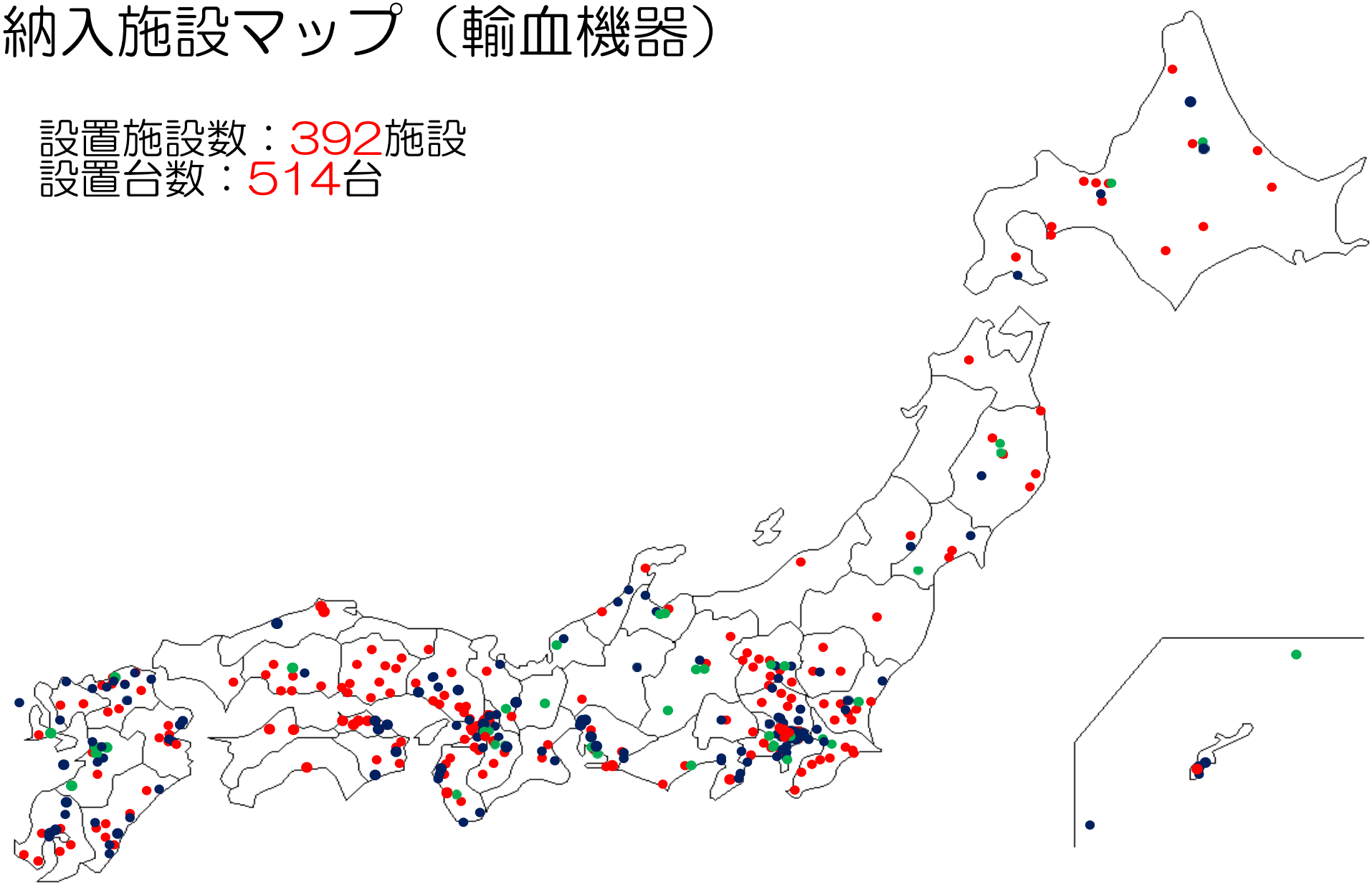
2020年 4月　　・カード用リーダー DG Reader Net

# ② 自動機台数/試薬売上　推移



# 納入施設マップ（輸血機器）

設置施設数：392施設
設置台数：514台



# ③ 輸血事業 プロモーション活動

- 学会展示/出展、セミナー共催
  - 日本輸血・細胞治療学会学術集会／秋季シンポジウム
  - 日本臨床検査自動化学会／JACLaS EXPO／日本医療検査科学会
    日本医学検査学会
  - 日本血液事業学会

- 自社主催の展示会・セミナー
  - 全自動輸血検査装置　内覧会
  - Erytra Eflexis新製品記念講演会
  - カイノスユーザー会　Webセミナー

- その他プロモーション活動
  - グリフォルス・カイノスBloodニュース　2013年10月より　No.22まで発行
  - カイノス輸血検査Webセミナー　2021年 3月より　第20回まで毎月実施
  - 輸血検査機器　リモート見学　2021年 4月より　30施設に実施

# ④ 今後の展望

《 目標 》

売上シェア 10% ⇨ 売上シェア 20%

設置台数:514台 ⇨ 設置台数:700台

- 各都道府県規模の機器展示、講演
- 大、中堅施設への提案強化
- 小規模施設へのカラム化促進
- 未自動化施設へのアプローチ
- 既存施設の確実な更新
- 顧客要望を反映させたソフトウェアへの更新

KAINOS
KAINOS LABORATORIES,INC.

# 2022年度の課題と対策（上期結果）

## 4. 新規商品の上市

1）抗ピロリ抗体検査（免疫/ラテックス法）
⇒2022年5月上市

2）新型コロナウイルス検査（遺伝子/qSTAR法）
⇒2022年5月上市

対策：商品特性の理解と効果的な情報提供

1）抗ピロリ抗体検査：標準法としての位置づけ
⇒ヘリコバクター学会推奨のラテックス法

2） 新型コロナウイルス検査：
加熱不要・直接増幅等簡易性アピール
⇒ 20分増幅の迅速性、核酸抽出工程不要と簡易性

KAINOS
KAINOS LABORATORIES,INC.

# 2022年度の課題と対策（上期結果）

## ５．原価・経費低減の取り組み

### 1) 新自動充填機の導入（笠間工場）

・ 完成品設置・稼働開始： ２０２１年 ７月
・ 既存充填機以上の機能改善、処理速度向上
・ 人的負担・ミスの軽減 及び 能率(作業効率)アップ・加工費低減効果

・想定通り１５％改善

# 2022年度の課題と対策（上期結果）

## ５．原価・経費低減の取り組み

### 2）配送費の削減（業務部・配送センター）

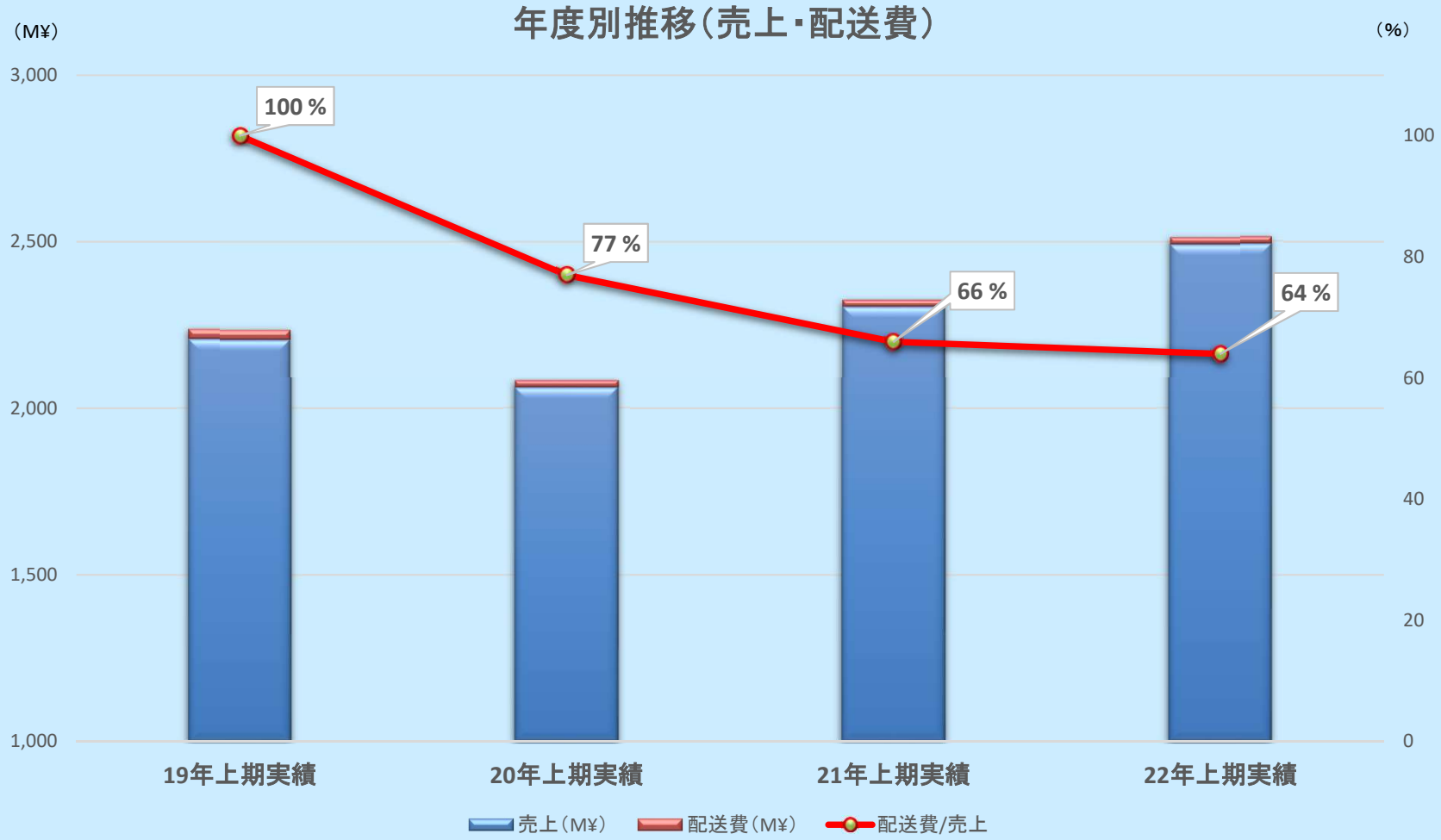
・チャーター便の適正使用
・20代理店の出荷回数適正化
・冷凍品発送資材の見直し

・配送費/売上比率を2019年と比較して
2022年度は36％削減

KAINOS
KAINOS LABORATORIES,INC.

# 2022年度の課題と対策（上期結果）

## 2)配送費の削減



KAINOS
KAINOS LABORATORIES,INC.

# 2022年度の課題と対策（下期課題）

1. 市場変化に順応した新営業スタイルの確立
2. 生化学試薬の拡販
3. 輸血項目の拡大
4. 新製品の開発
5. 原価・経費低減の取り組み

KAINOS
KAINOS LABORATORIES,INC.

# 2022年度の課題と対策（下期課題）

## 1．市場変化に順応した新営業スタイルの確立

課題）

1）Webシステムの応用

2）市場ニーズの多様化

対策）

1） 顧客の問題解決を目的としたソリューション営業

2）人間ドック、健診施設の活動強化

3）遺伝子検査市場の構築

KAINOS
KAINOS LABORATORIES,INC.

# 2022年度の課題と対策（下期課題）

## ２．生化学試薬の拡販

１）重点項目シェアUP（CRE、UN、UA、IP、Ca、Mg、GL、TP、ALB）

・大学病院等基幹施設を中心に重点拡販

目標：200施設、400項目

・機器メーカーと協業した提案活動

・CRE：トップシェアの奪取

目標：1,000施設 （現在 812施設）

目標：2,200施設 （現在 1,968施設）

年間売上：1,400M￥ （2021年度 1,125M￥）

KAINOS
KAINOS LABORATORIES,INC.

# 2022年度の課題と対策（下期課題）

## ３．輸血項目の拡大

1）機器拡販

・機器使用施設：500施設へ設置

・基幹施設中心に新規設置及び既存施設の確実な更新
　全自動機目標：新規15施設、更新対象10施設

2）顧客満足度の向上

・Webセミナーの継続配信（1回/月）

・輸血検査精度管理調査の実施

・アフターフォロー体制の強化

KAINOS
KAINOS LABORATORIES,INC.

# 2022年度の課題と対策（下期課題）

## 4. 新製品の開発

対策

1) HISCL試薬（シスメックス社）の項目拡充

2) 新規項目（敗血症マーカー）の開発

3) その他

NASBA核酸クロマト法　承認申請のデータ補完

KAINOS
KAINOS LABORATORIES,INC.

# NASBA核酸クロマト法
# スイフトジーンSARS-CoV-2「カイノス」
# 承認申請のデータ補完

・ 新型コロナウイルス核酸検査は、緊急対応として優先審査の取扱いとなり、本来体外診断用医薬品の承認条件として求められる試験データ（臨床性能試験数等）が不足しても、製造販売承認から保険適用されている。

※当時の状況： 臨床検体入手や臨床性能試験の実施、長期安定性確認が困難

・今期、当局から各社に対し、承認条件を満たすデータの早期補完が促された。

KAINOS
KAINOS LABORATORIES,INC.

# NASBA核酸クロマト法
# スイフトジーンSARS-CoV-2「カイノス」
# 承認申請のデータ補完

・当社のNASBA核酸クロマト法は承認条件として、以下が求められている:

「臨床性能試験を評価可能な試験を製造販売後に実施すること」

・求められる 2施設・160症例データのうち、承認前に 1施設（80症例）の試験を実施済

・本キットの承認維持に向け、12月までに追加の1施設（80症例）試験を実施予定

# 2022年度の課題と対策（下期課題）

## 5. 原価・経費低減の取り組み

### 1) 用手法充填作業を自動化する検討（笠間工場）

- 初号機の後継機
- 切り替え操作の簡略化
- 500本/バッチ以下でも効果あり
- 300mL以上の充填量対応
- キャリブレータ用の点眼瓶対応

初号機12年稼働→

# 2022年度の課題と対策（下期課題）

## ５．原価・経費低減の取り組み

### ２）出荷数量の増加対策（業務部・配送センター）

・運送作業の効率化及び均一化
・運送会社の適正使用

KAINOS
KAINOS LABORATORIES,INC.

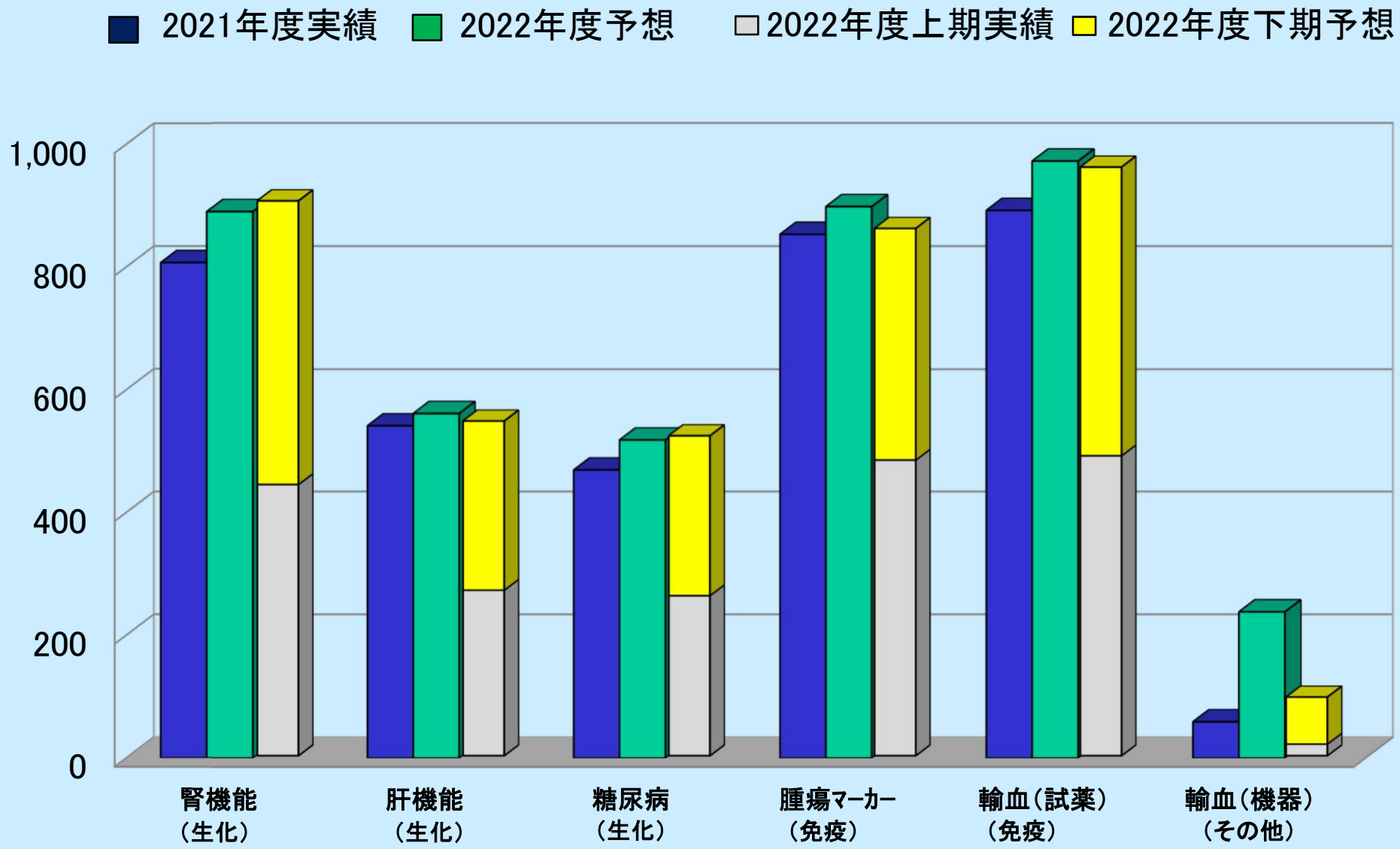
# 2022年度予想

KAINOS
KAINOS LABORATORIES,INC.

# 2022年度予想

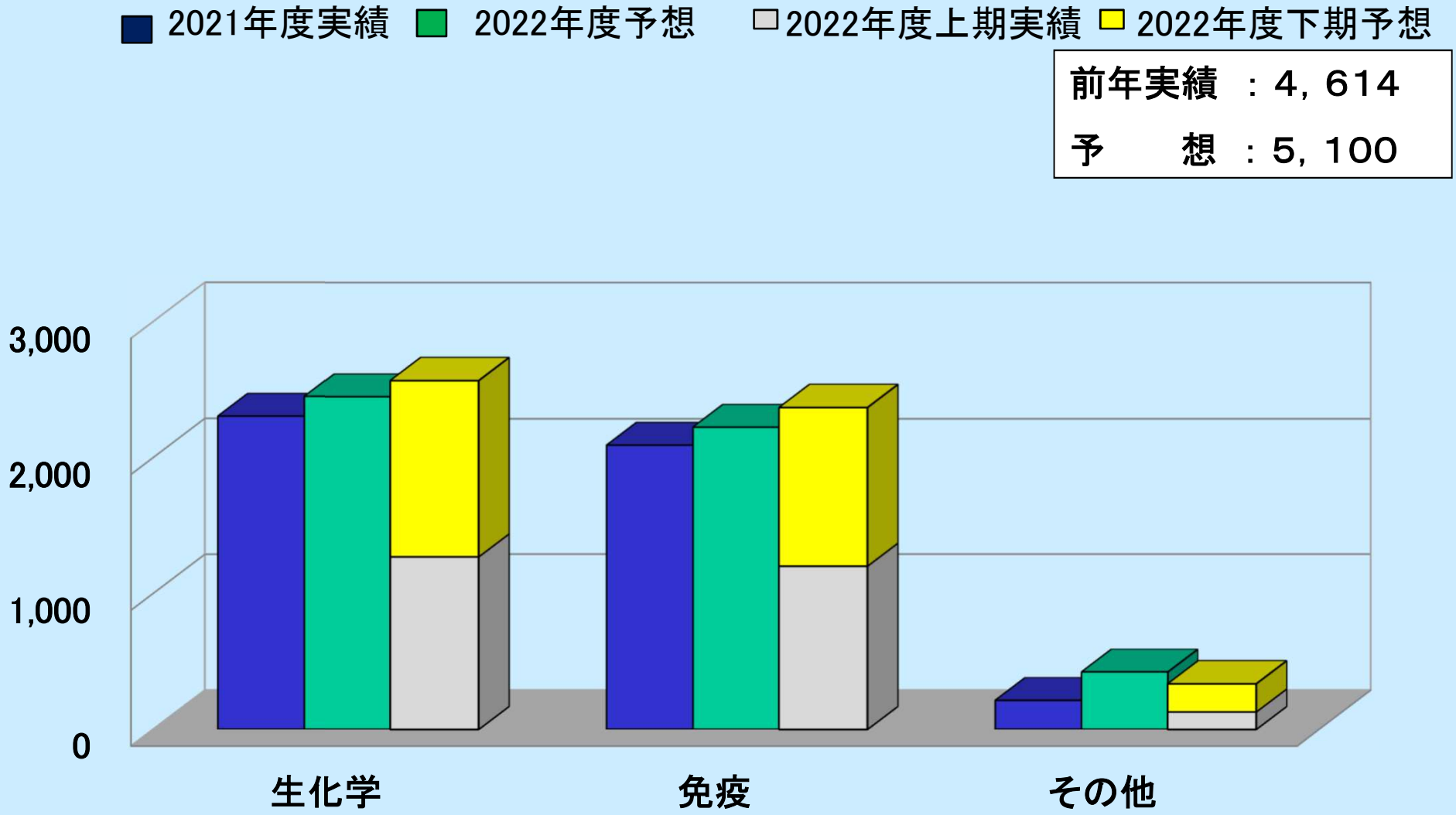
## 売上高（主要検査分野別）

（単位：百万円）



# 2022年度予想

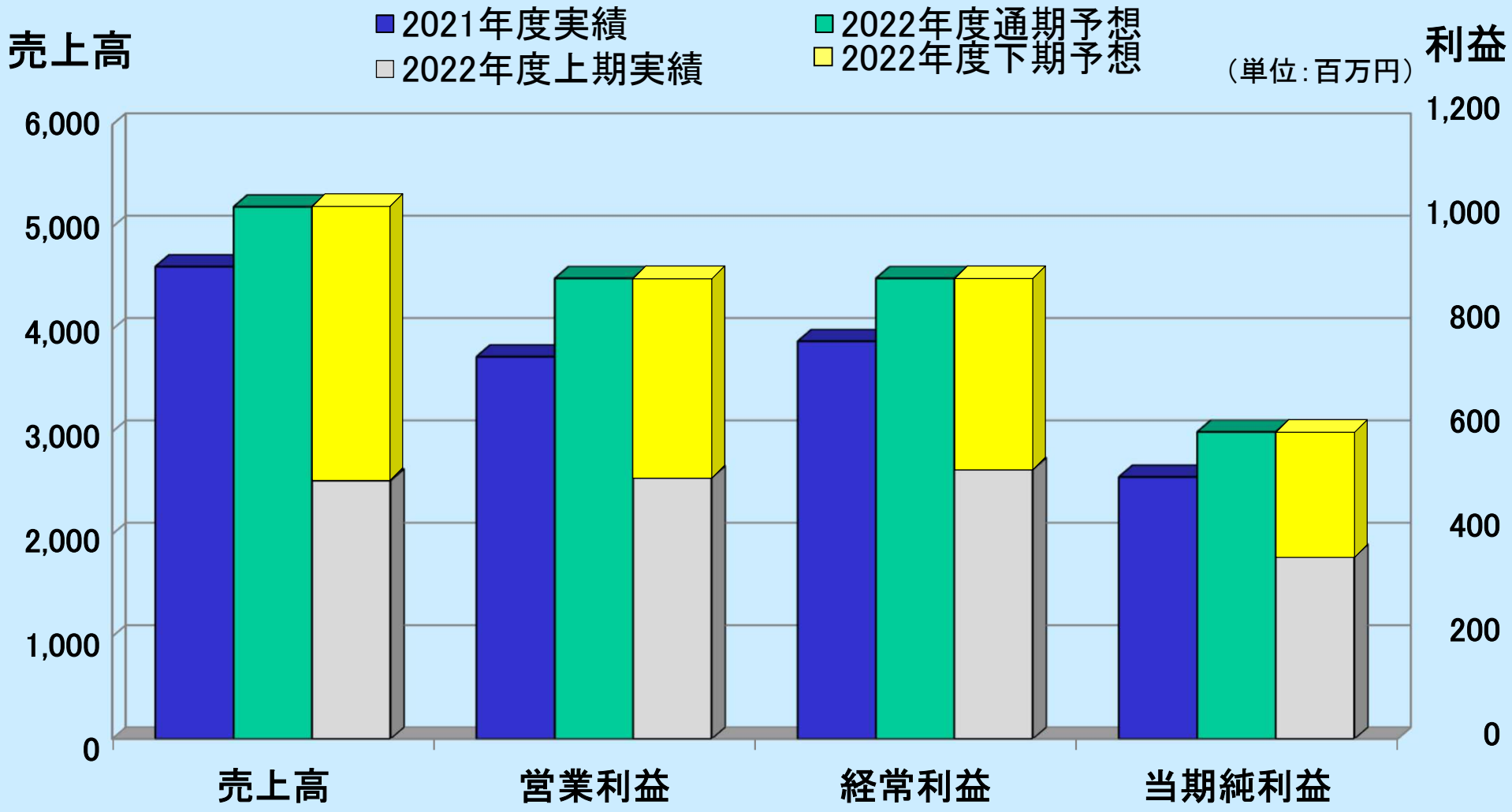
売上高（検査分野別）　　（単位：百万円）




| | |
|---|---|
| 前年実績 | ：4，614 |
| 予　　想 | ：5，100 |

KAINOS
KAINOS LABORATORIES,INC.

# 2022年度 通期予想



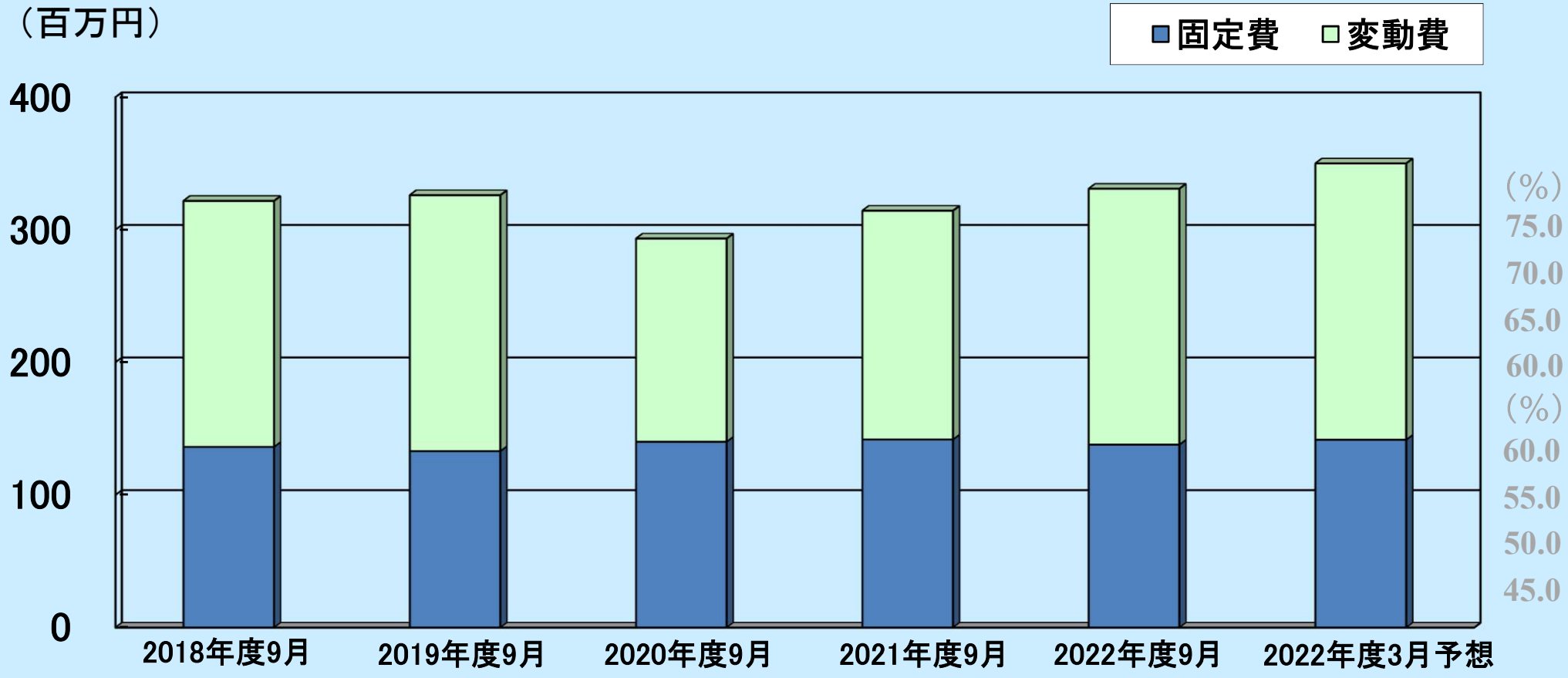
KAINOS
KAINOS LABORATORIES,INC.

# 2022年度 通期業績予想

（単位：百万円）

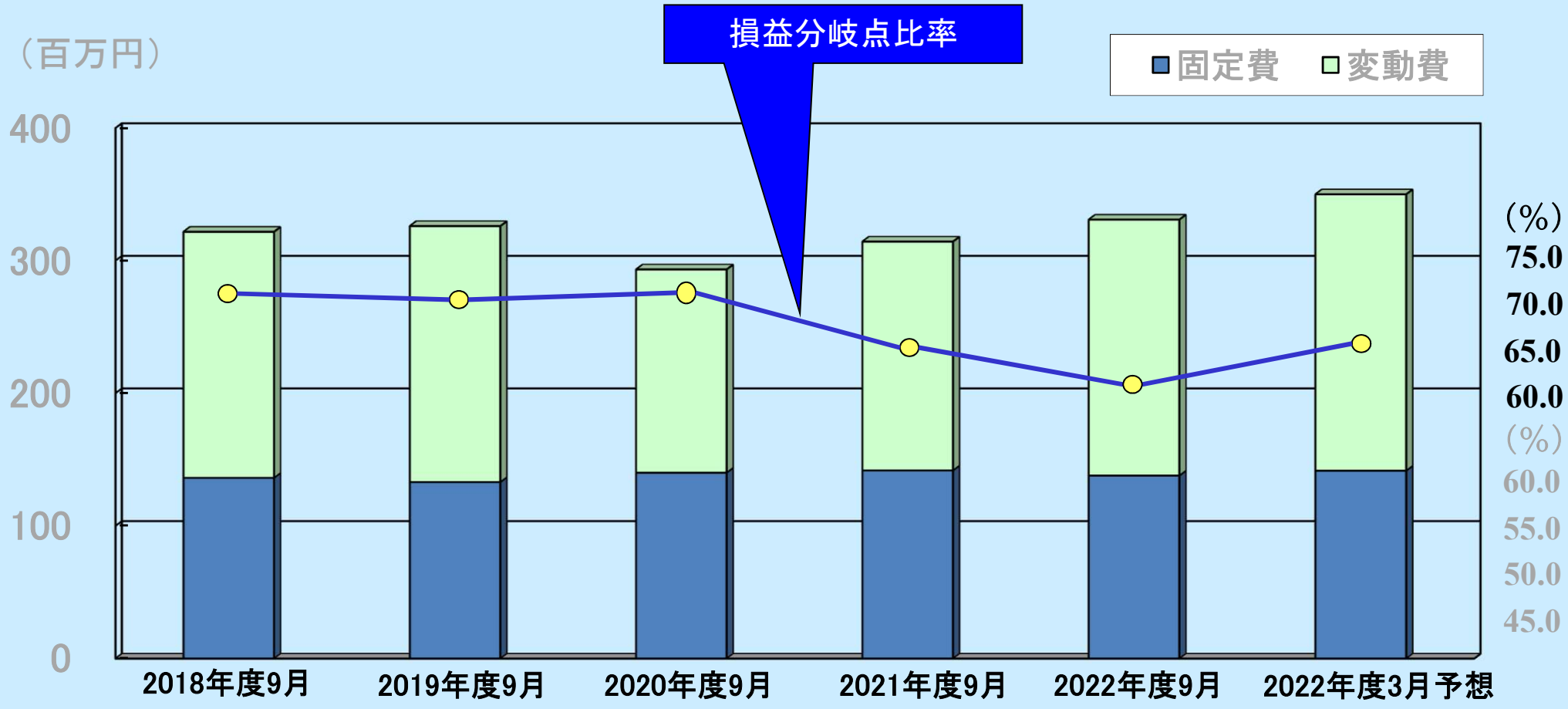
| | | 2021年度通期実績 | 2022年度通期予想 | 増減額 | 増減率（%） |
|---|---|---|---|---|---|
| 売上高 | 製品 | 3,973（86.1 %） | 4,312（84.5 %） | 339 | 8.5 |
| | 商品 | 641（13.9 %） | 788（15.5 %） | 147 | 22.9 |
| | 計 | 4,614（100.0 %） | 5,100（100.0 %） | 486 | 10.5 |
| 営業利益 | | 747 | 900 | 153 | 20.5 |
| 経常利益 | | 777 | 900 | 123 | 15.8 |
| 当期純利益 | | 512 | 600 | 88 | 17.2 |

# 損益分岐点の推移


（百万円）
固定費
変動費
400
300
200
100
0
（%）
75.0
70.0
65.0
60.0
（%）
60.0
55.0
50.0
45.0
2018年度9月
2019年度9月
2020年度9月
2021年度9月
2022年度9月
2022年度3月予想

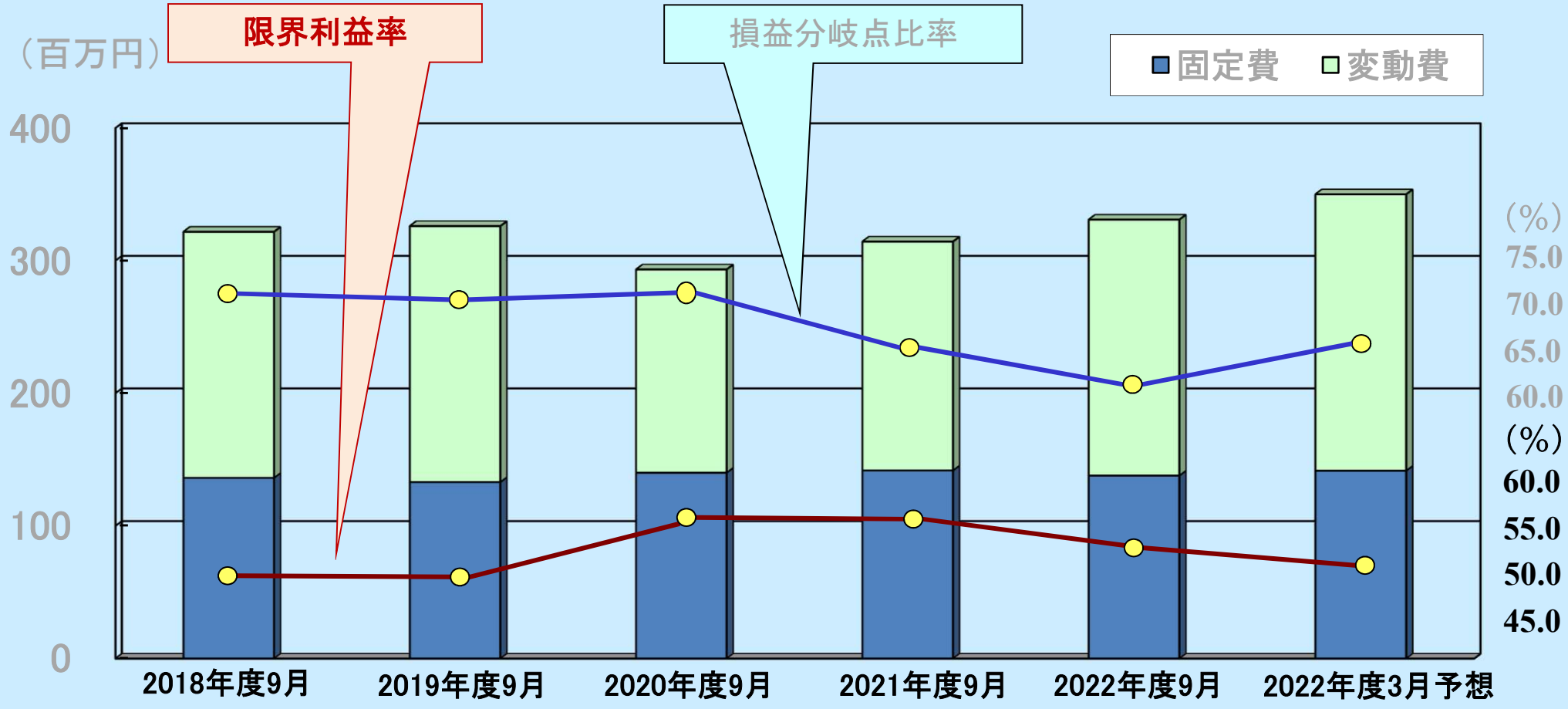
KAINOS
KAINOS LABORATORIES,INC.

# 損益分岐点の推移

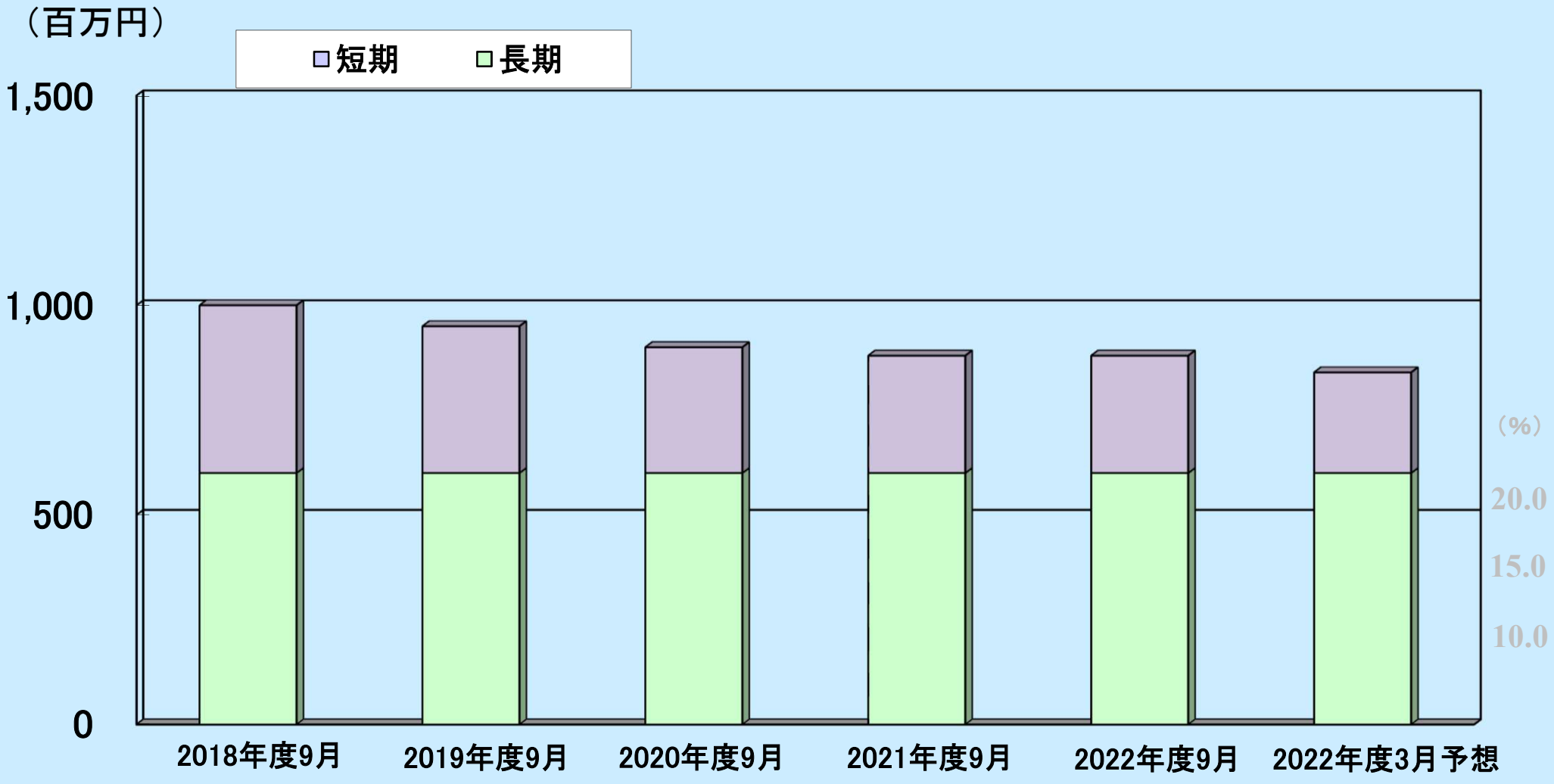


KAINOS
KAINOS LABORATORIES,INC.

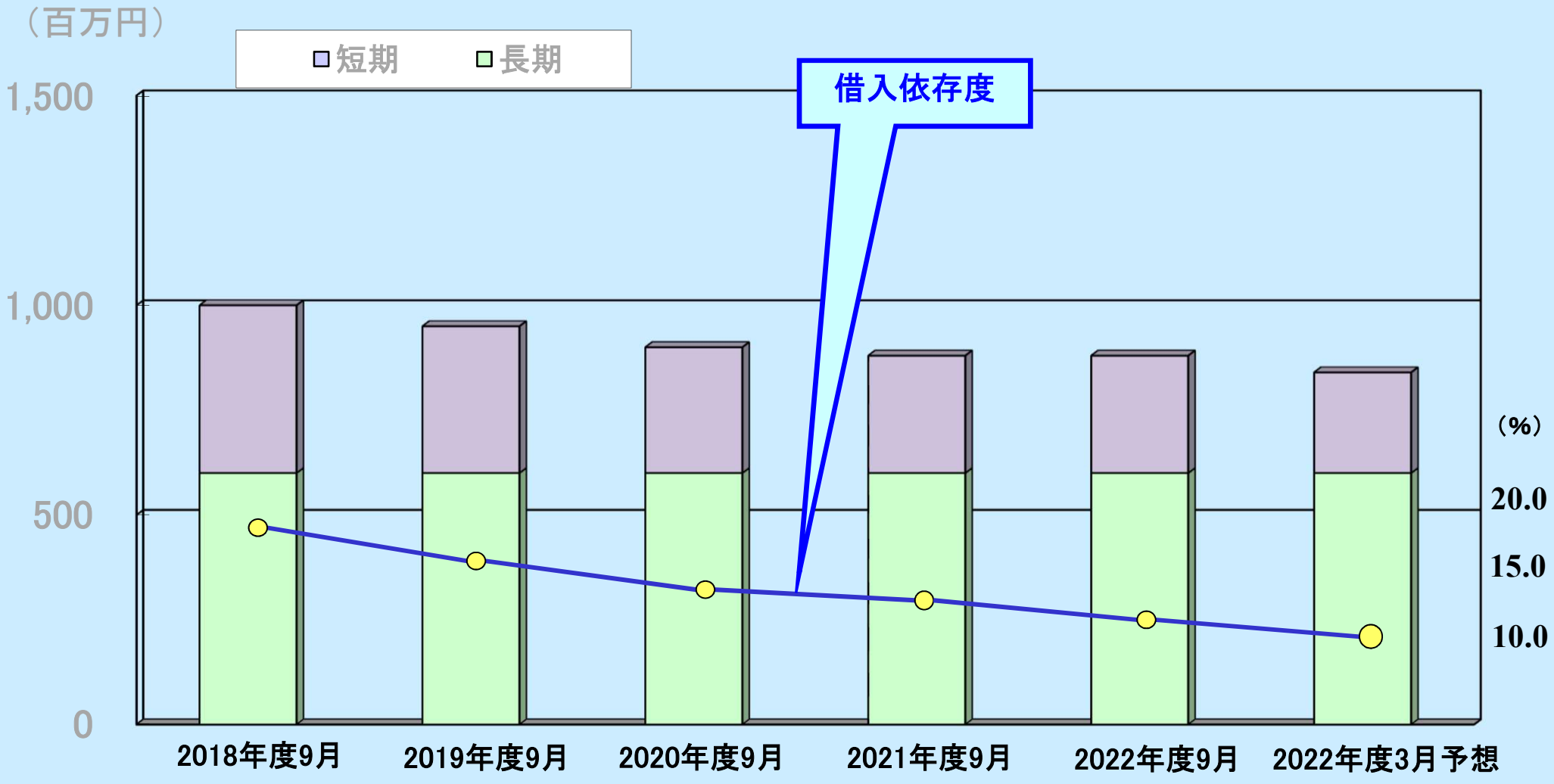
# 損益分岐点の推移



# 有利子負債の状況


（百万円）
短期
長期
1,500
1,000
500
0
（%）
20.0
15.0
10.0
2018年度9月
2019年度9月
2020年度9月
2021年度9月
2022年度9月
2022年度3月予想

# 有利子負債の状況


（百万円）
短期
長期
借入依存度
1,500
1,000
500
0
（%）
20.0
15.0
10.0
2018年度9月
2019年度9月
2020年度9月
2021年度9月
2022年度9月
2022年度3月予想

Creative Power & Innovation

KAINOS

KAINOS LABORATORIES,INC.